

快適に使用していただくために

取扱説明書

収納網戸

もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	3
3.使用方法	4
3-1 網戸の収納方法	4
3-2 網戸コーナー框の操作方法	5
3-3 網戸本体の取外しと取付け	6
3-4 網戸調整方法	7
3-5 製品のお願ひ	12
4.お手入れについて	13
5.修理を依頼する前に	14
6.修理	14

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

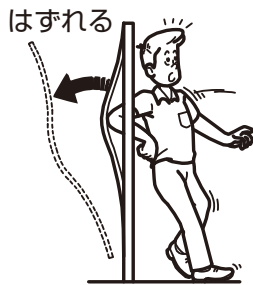
●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

1 安全のために必ず守ってください

⚠ 警告

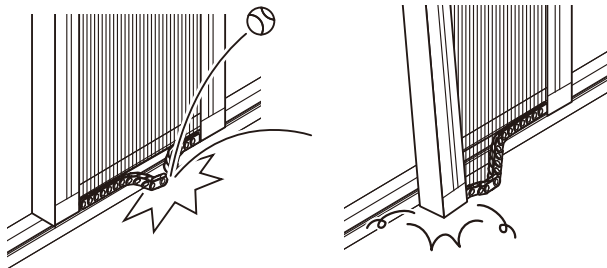
- 植込み型医療機器をお使いの方はご注意ください！
 - ・ 本製品の磁石を植込み型医療機器へ近づけないでください。
 - ・ 医療機器の正常な動作を損なうおそれがあります。
 - ・ 植込み型医療機器の取扱説明書または担当医師に確認してください。

⚠ 注意



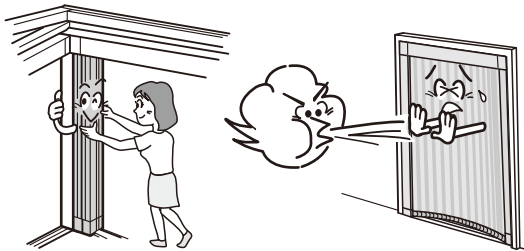
- 網戸に寄りかかったり、網戸を押したりしないでください。網戸が急にはずれたり、網戸が破損してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- キャタピラや下レールに強い衝撃をあたえないでください。キャタピラがはずれ網戸パネルが破損してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



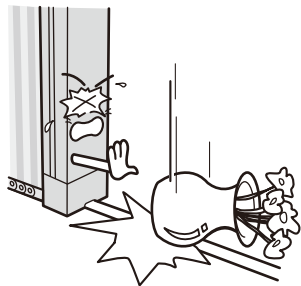
- 網戸が脱落してケガをするおそれがありますので、下記の事項をお守りください。
 - ・ 網戸を取付けた後、網戸の収納枠を引いて、アンカープレートから外れないことを確認してください。
 - ・ 風速6.5m以上の強風時には、使用しないでください。

お願い



- 夜間は網戸が見えにくくなります。ぶつからないようにご注意ください。

お願い



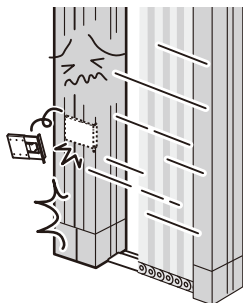
- レールには衝撃を与えたり硬い物を当てないでください。変形・破損の原因になります。

お願い



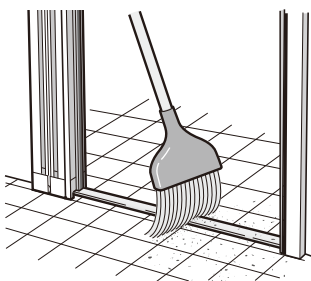
- スライドバーに把手や錠をネジ止めしないでください。ネジがキャタピラに当たって動かなくなるおそれがあります。

お願い



- 網戸の収納は静かに行なってください。勢いよく動かすとパネル開き止めが破損するおそれがあります。

お願い

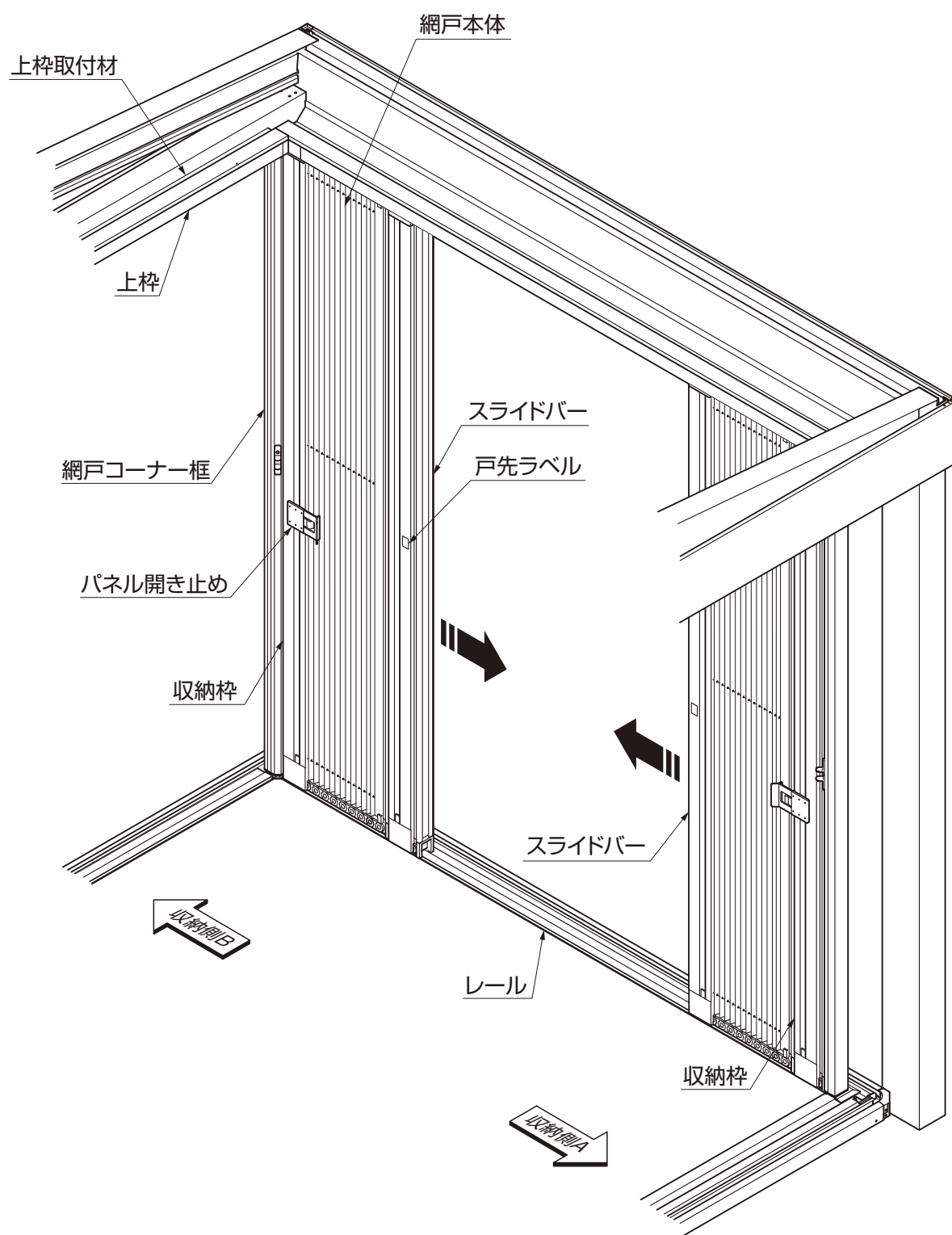


- レールおよびレールのまわりの小石、砂、ほこり、泥などのよごれはこまめに清掃してください。汚れがたまると部品の摩耗や破損によってスムーズな開閉ができなくなります。

お願い

- 寝時、外出時は網戸を収納してください。
強風により網や網戸が破損するおそれがあります。
また長時間網を出したままにすると、網のプリーツが弱くなり収納性が悪くなるおそれがあります。

2 各部の名称

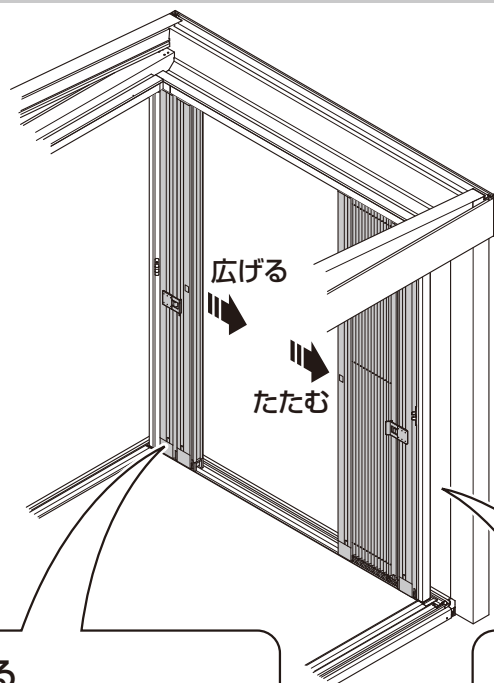


補足

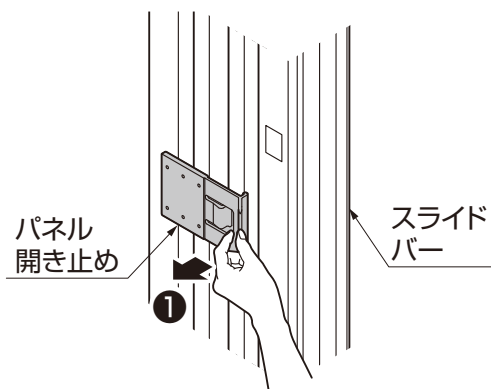
●図はジーマの場合を示します。

3 使用方法

3 - 1 網戸の収納方法



(1) 網戸を広げる

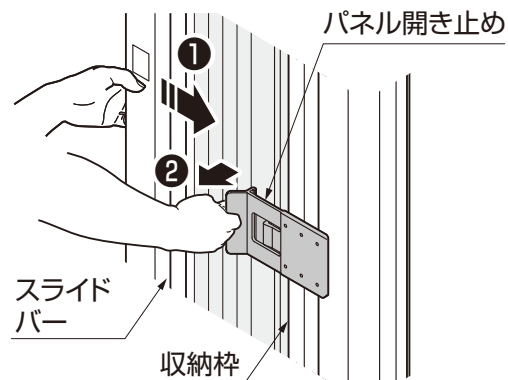


- ① パネル開き止めの引っ掛け部分をスライドバーから外してください。

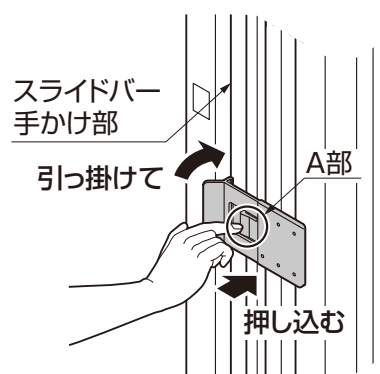


- ② スライドバーの中央の手かけ部を持って網戸を広げてください。

(2) 網戸をたたむ



- ① スライドバーを収納枠に引き寄せてください。
② パネル開き止めの引っ掛け部分を手前に引っ張ってください。

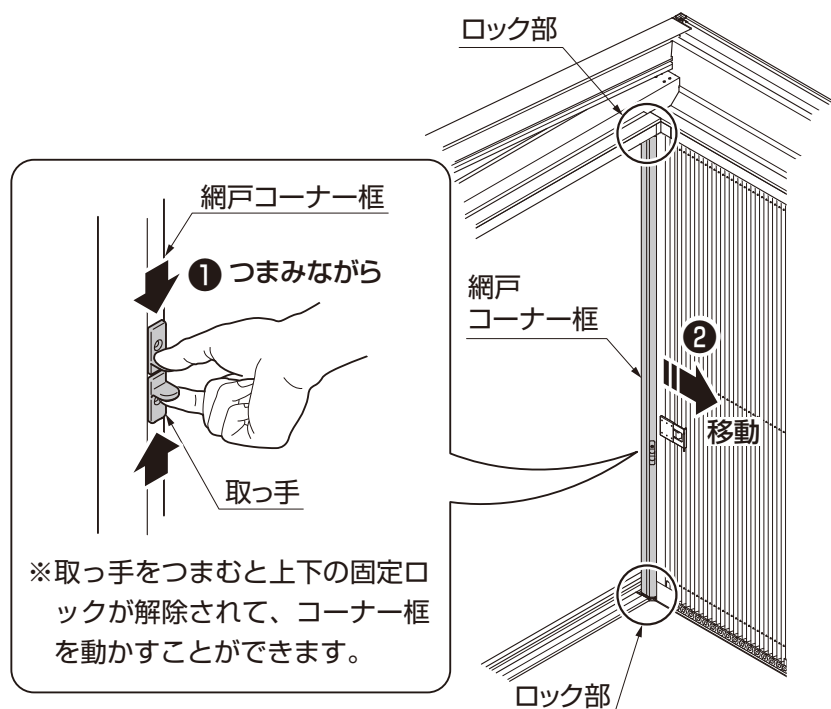


- ③ パネル開き止めの引っ掛け部分をスライドバーの手かけ部に引っ掛け、A部を押し込んでください。

3-2 網戸コーナー框の操作方法 ※ジーマの場合です。

補足

- ジーマ本体の折戸パネルをコーナー部でスムーズに移動するために、網戸コーナー框を一時的に正面中央方向に移動することができます。

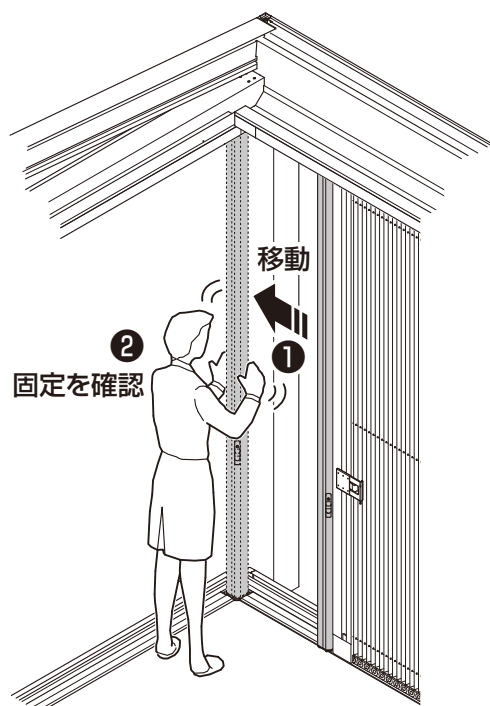


(1) 網戸コーナー框を移動する

お願い

- 網戸は広げたままにしてください。

- ① 網戸コーナー框の2つの取っ手を同時につまんでください。
- ② そのまま、網戸コーナー框を間口方向へ700mmほど移動させてください。



(2) 網戸コーナー框を元の位置に戻す

- ① 網戸コーナー框の2つの取っ手を同時につまみながら、コーナー部へ移動させてください。
- ② 元の位置に戻ったら取っ手を離し、網戸コーナー框が動かないことを確認してください。

3-3 網戸本体の取外しと取付け

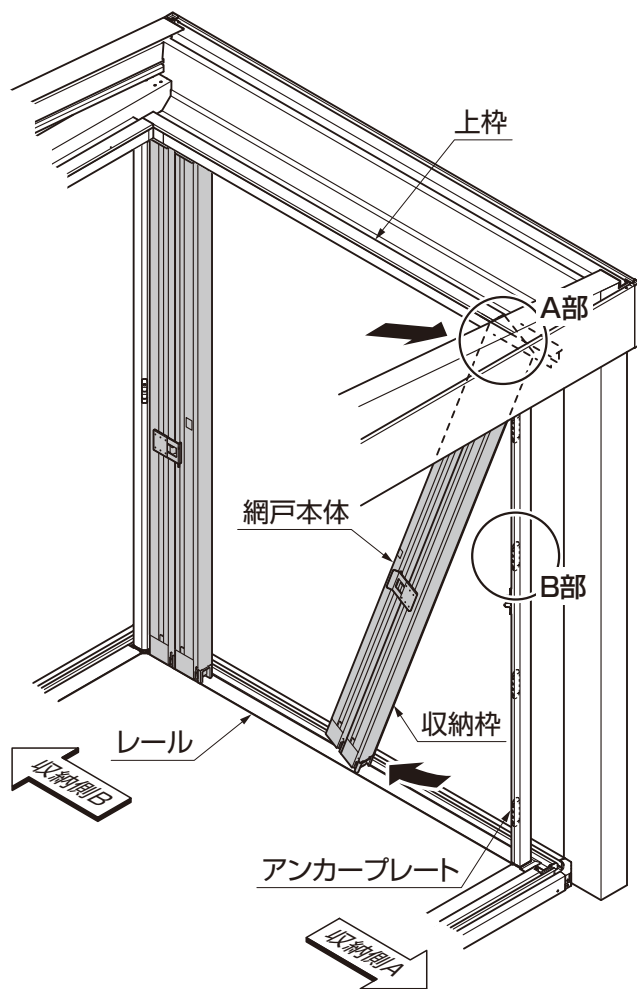


図3-1

上側シールが付いている方が上側になります。

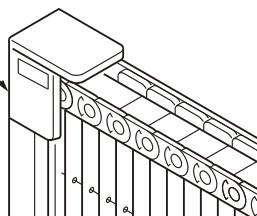


図3-2 A部詳細図

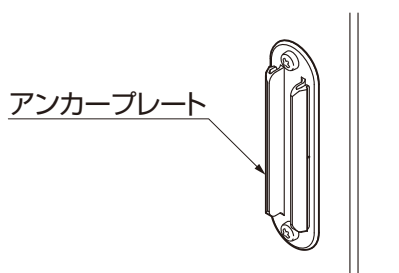


図3-3 B部詳細図

(1) 網戸本体の取外し

- ① 網戸本体の収納枠に両手をかけ収納側B方向に引っ張るとアンカープレートから収納枠が外れます。このとき、網戸本体をレールから少し浮かせて、左右どちらかの方向へひねると容易に取外することができます。
- ② 網戸本体を斜めにして上枠から取外します。(図3-1参照)

補足

- 網戸が2枚建・3枚建の場合は、本体連結部を取外してから上枠から取外します。

(2) 網戸本体の取付け

- ① 取外しと同じように網戸本体を斜めにして上枠とレールの間に入れ、本体をレールに接触させながら収納枠をアンカープレートに「パチン」と音がするまで押しつけると溝とアンカープレートが接合し固定されます。(図3-1参照)

お願い

- 網戸本体に貼ってある「上側」シールを上にして建込んでください。(図3-2参照)

補足

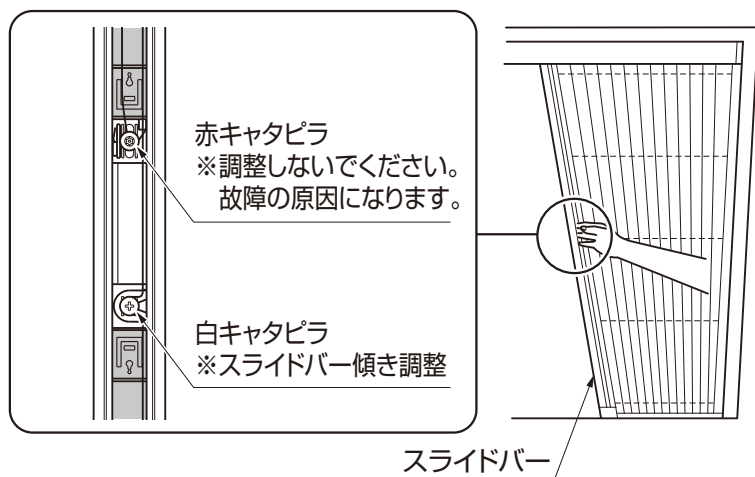
- 網戸が2枚建・3枚建の場合は、召合せ側の本体（マグネットが付いている本体）から先に、上枠キャップより挿入してください。その後、もう一方の本体を挿入し、本体どうしを連結させてください。(手順を間違えると、連結できなくなります。)

注意

- 網戸本体を取付けた後、網戸の収納枠を引いて、アンカープレートから外れないことを確認してください。(図3-1、図3-3参照)

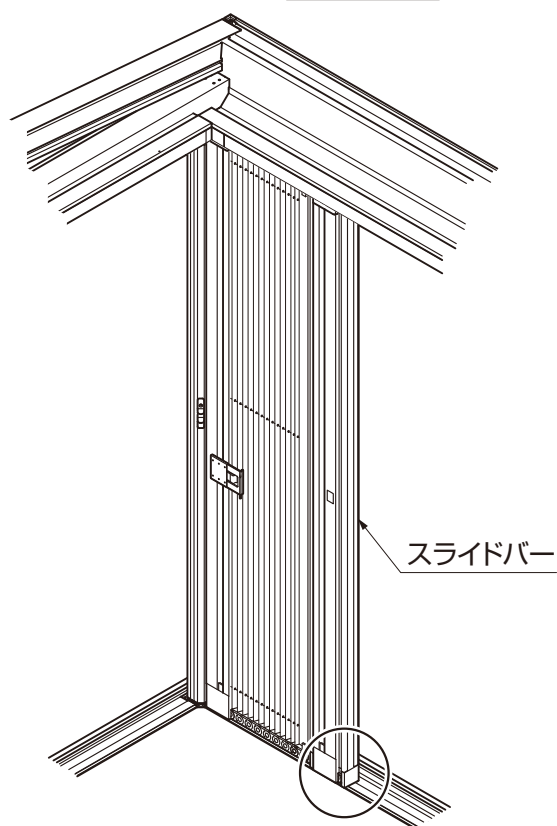
3-4 網戸調整方法

(1) 網戸 戸当り部にすき間ができる場合

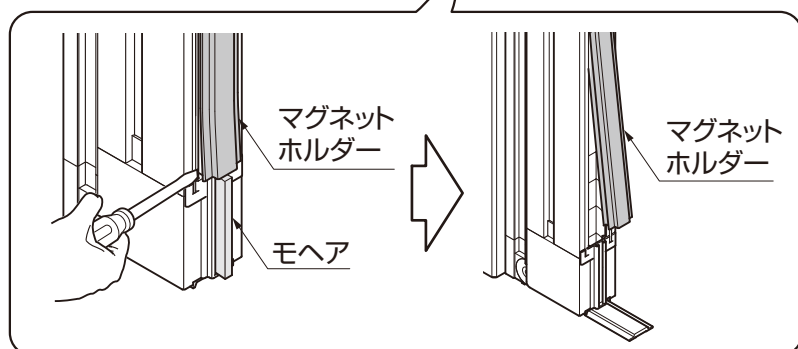


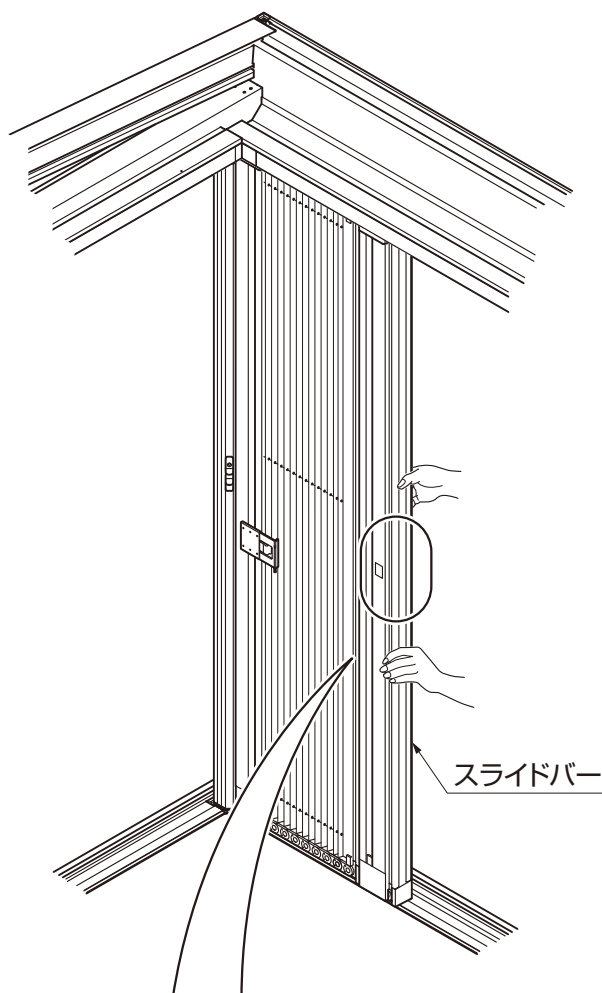
補足

- スライドバーの建付け調整ネジは、スライドバーの内側にあります。スライドバーに付いているマグネットホルダーを外してから調整します。
- マグネットホルダー内のマグネットには向きがあります。元に戻す際に向きを間違えないためにテープなどで印をしておくことをお勧めします。



- ①マグネットホルダー下部とモヘヤの間にマイナスドライバー差込んでください。
- ②そのままマイナスドライバーを持ち上げて、マグネットホルダーをスライドバーから取外してください。
- ③マグネットホルダーの外れた部分を持って、下から引きはがすように、上まで全部取外してください。





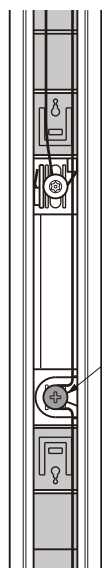
④白キャタピラネジを緩めてください。

⑤スライドバーの上下を持って傾きを調整してください。

⑥白キャタピラネジを締めてください。

お願い

●ネジは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますと樹脂部品が破損し調整機能がなくなるおそれがあります。



白キャタピラ調整ネジ
※スライドバー傾き調整

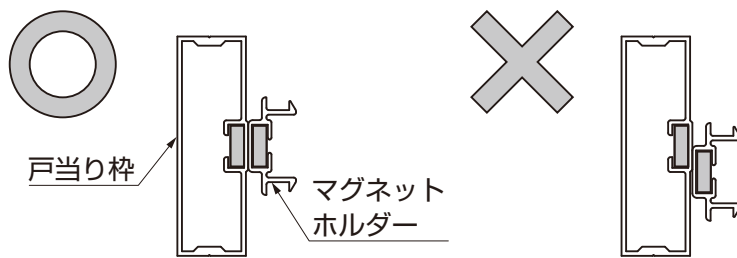


図3-1 片引きの場合

⑦マグネットホルダーが戸当り枠（片引き仕様）もしくは、引き分け本体のマグネットホルダーに固定できるか確認してください。

補足

●図3-1の戸当り枠は暖蘭物語の場合です。ジーマ、ココマの場合も戸当り枠の形状は異なりますが、同様です。

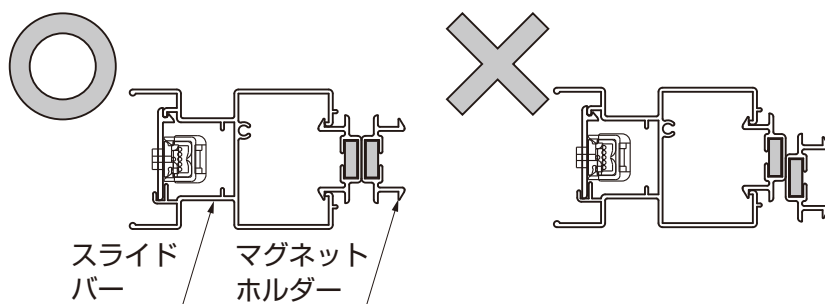


図3-2 引き分けの場合

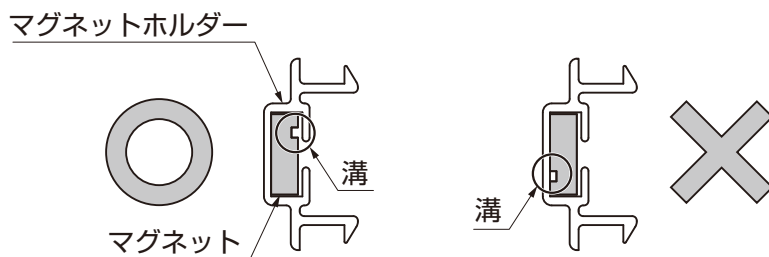


図3-3 片引きの場合

補足

●図3-1、図3-2のようにマグネットホルダーがズれて固定される場合は、マグネットの溝を図3-3、図3-4の通りにしてください。

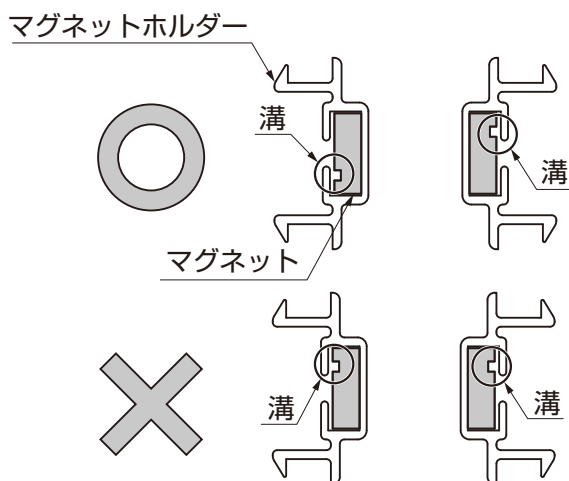


図3-4 引き分けの場合

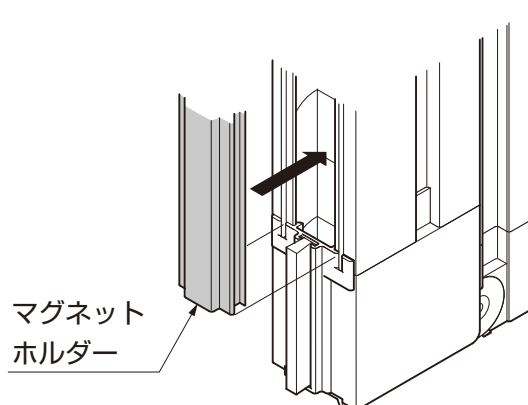


図3-5 マグネットホルダーの取付け

⑧すべての確認が完了したらマグネットホルダーを取付けます。(図3-5参照)

補足

- マグネットホルダーを、スライドバー下部の溝に合わせ押付け取付けます。
- 下から順にマグネットホルダーをスライドバーに押付け取付けます。

(2) キャタピラが外れてしまった場合



図3-6 網戸上部のキャタピラの向き



図3-7 網戸下部のキャタピラの向き

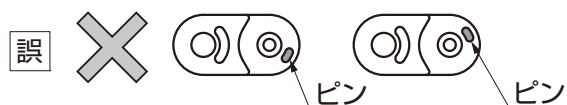


図3-8

①キャタピラが外れてしまった場合には、図3-6、図3-7、図3-8を参照してキャタピラの向きに注意しながらはめ込みます。

補足

- はめ込むときは、図3-9のように押広げながらはめ込むと、簡単にできます。

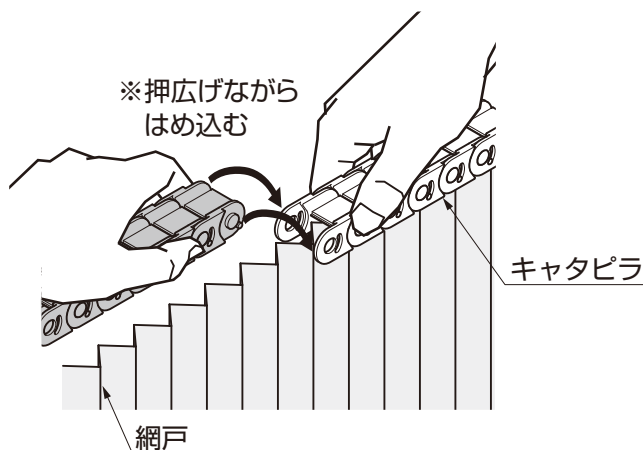
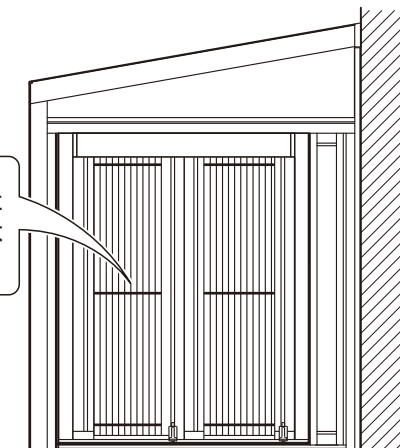


図3-9 キャタピラのはめ方

(3)ワイヤーのたるみの確認

ポイント

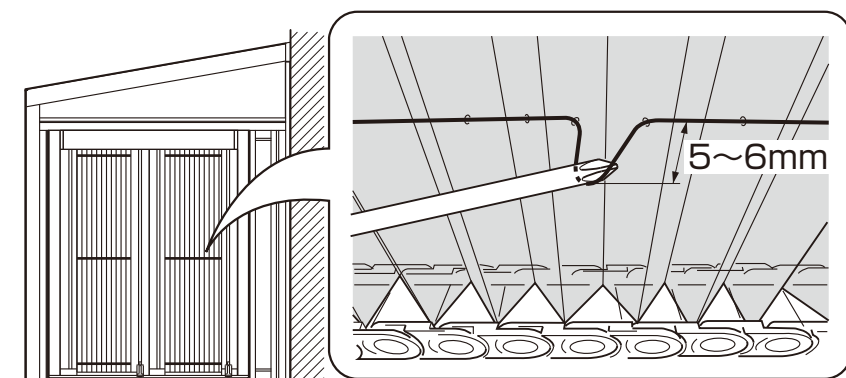
- ワイヤー部分でたるみの確認を行います。



①網戸を開いてください。

ポイント

- 網戸を開いた状態でたるみの確認を行います。

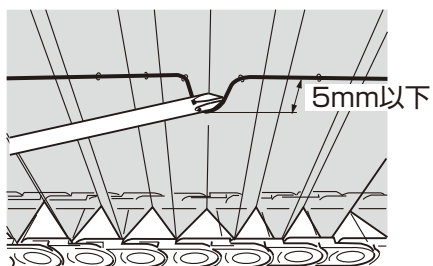


②ワイヤーのたるみが5~6mmであることを確認してください。

ポイント

- 網戸がはりすぎ、たるみすぎの場合は、次のページの「(4)ワイヤーのたるみの調整」を行ってください。

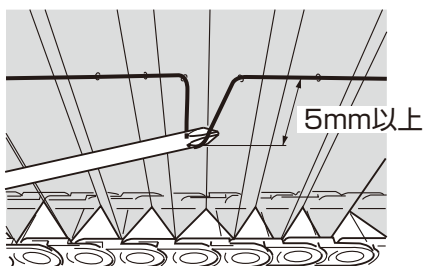
【たるみが5mm以下の場合】



ポイント

- 網戸がはりすぎです。

【たるみが5mm以上の場合】



ポイント

- 網戸がたるみすぎです。

(4)ワイヤーのたるみの調整

ポイント

- ワイヤー部分でたるみの確認を行ないます。

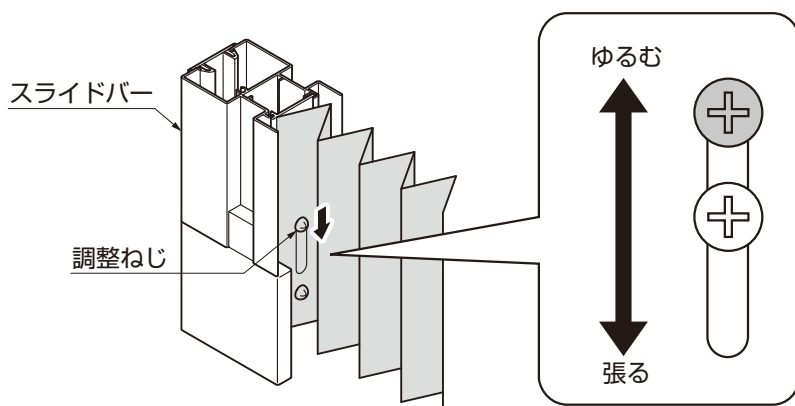
ポイント

- 網戸両端部のネジで調整を行います。

ポイント

- 網戸がはりすぎ、たるみすぎの場合のみ本作業を行なってください。

①網戸を開いてください。



②調整ネジを上下させて網戸のはりを調整してください。

ポイント

- 調整が完了したら、再度「(3)ワイヤーのたるみの確認」を行なってください。

3-5 製品のお願ひ

お 願 ひ

- レールに強い衝撃を与えたり硬いものを当てないでください。レールが変形し、網戸の開閉に支障をきたすおそれがあります。
- レールの上やレールの周りの小石、砂、ほこり等は取除いてください。部品の磨耗、損傷を起こすおそれがあります。
- 油などの潤滑材は使用しないでください。ほこり等が付着し、作動不良になるおそれがあります。
- 網戸の近くで火を燃やしたり、加熱しないでください。網戸が溶けたり変形するおそれがあります。
- スライドバーに把手や錠をネジ止めしないでください。ネジがキャタピラに当たって動かなくなるおそれがあります。
- スライドバーを持上げながら開閉しないでください。網戸がレールからはずれてしまうおそれがあります。
- 上枠中央付近でスライドバーを止めたまま長時間放置しないでください。上枠内の部品が変形して操作不良になるおそれがあります。
- 網戸本体は分解、改造しないでください。網戸が破損したり、正しく組みなおすことができなくなります。
- 網戸を取付ける際は上下を確認し、正しく取付けを行なってください。
無理に取付けようとすると破損の原因になります。
- 網戸の近くに物を吊るさないでください。強風時や開閉時に網戸にぶつかり、破損の原因になります。

4 お手入れについて

補足

- 本製品は網戸を外して丸洗いです。

(1) 網戸パネルの清掃

- ①水洗いする場合は、スポンジ、毛先の柔らかいブラシ等でワイヤーを引っ掛けないように洗ってください。網をいためるおそれがあるたわし等の器具は使用しないでください。
- ②汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

- 水洗い後は、網戸本体を十分に乾燥させてください。濡れたまま使用すると再びほこり等が付着しやすくなり、開閉が重くなります。
- レール周りの小石・砂・ほこり等がたまりますと、部品の摩耗・損傷を引き起こし、網戸の開閉に支障をきたすおそれがあります。こまめに清掃するようにしてください。
- シンナー・ベンジン等の有機溶剤は絶対使用しないでください。

(2) アルミ製品の清掃

- スライドバーや収納枠、上枠、下レールはアルミ製品です。定期的な水洗いによって常にきれいに保てます。

- ①年に2～3回水洗いをして拭き取ってください。
- ②汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きをしてください。
- ③汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭き取ってください。

お願い

- お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを用い、金属ブラシや金ペラの使用は避けてください。
- 小石や砂などが付着したままこすると、アルミ表面に傷がつきます。あらかじめ取り除いてください。

5 修理を依頼する前に

- 故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときは、修理をご依頼ください。

このようなとき	点 検	処 置
網戸本体が下レールからはずれてしまった	・強風時に使用していませんでしたか。 ・網戸本体に衝撃などの強い力を与えませんでしたか。	網戸本体を下レールの上に手で戻してください。
網がキャタピラからはずれてしまった	強風時に使用していませんでしたか。	キャタピラから外れた箇所の網を手で戻してください。
開け閉めがしにくい	網戸パネルの底部に砂やゴミがつまっていますか。 下レールに砂やゴミがたまっていますか。	網戸パネルを取りはずし、下レールおよび網戸パネルの底部（図5-1 A部）を清掃してください。
異音が発生した	網戸パネルの底部が汚れていませんか。	網戸パネルを取りはずし、網戸パネルの底部（図5-1 A部）を清掃してください。

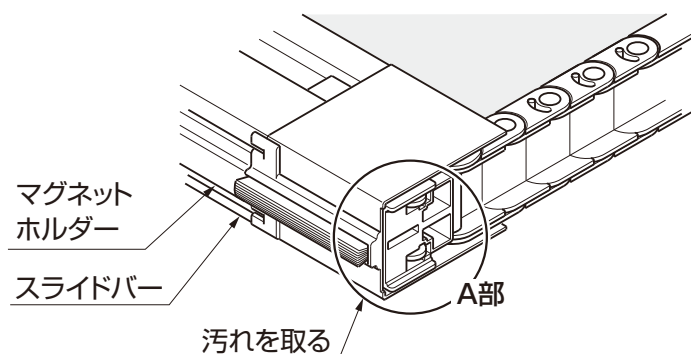


図5-1 網戸パネル下部の清掃

6 修理

- 網が破損し、使用に支障をきたす場合、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
- 修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店（工事店）または、「お客様相談センター」にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電 話 番 号	
施 工 店 名		そ の 他	

- 消耗品は寿命があり、有償修理となります。

収納網戸 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前 様	
	電 話 ()	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電 話 ()	

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

- 保証者**
株式会社LIXIL
- 保証の対象者**
当該商品の所有者
- 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
- 保証内容**
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
- 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注)新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手にくらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹脂のにじみ出しなど)。
- ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
- ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
- ⑨天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。

※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報の確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX. ☎0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」(<https://www.lixil.co.jp/privacy/>) をご覧ください。

取説コード

UE083

JZZ621919E
201101A_1039
202007F_1049